様式Ｃ－１９

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成２４年　５月　１９日現在

機関番号：３２６８９
研究種目：研究活動スタート支援
研究期間：2010～2011
課題番号：22820073
研究課題名（和文）　国境横断物語評論：日系ペルー人の国・アイデンティティーとは何か

研究課題名（英文）　Border-crossings and Japanese Peruvians' Home and Identity

研究代表者
間藤　茂子（ MATO　SHIGEKO ）
早稲田大学・国際教養学術院・准教授
研究者番号：90579468

研究成果の概要（和文）：日系ペルー人のアイデンティティに関する論文を国際スペイン語文学学会（クスコ、ペルー）にて発表した。また、もう一本の論文を学術誌で発表した。さらに、2012年5月にラテンアメリカンスタディーズ国際学会で別の論文を発表する（選考率３３％）予定である。他の論文はまだ発表するに至っていないが、この研究に関するものは合計で上記以外に二本書きあげ、校正中である。さらに日系詩人に関する新たな論文に取り組んでいる。最後に、ペルー、アメリカで実のある資料集め、ペルーでは、日系ペルー人作家との会合、インタビューができた。

研究成果の概要（英文）：I presented a paper related to the theme of Japanese Peruvian identity at an international conference in Cuzco, Peru and published an article in a peer-review journal. I am also presenting another paper at an international conference (acceptance 33%) in May 2012. I have also written two more articles to be revised and submitted to peer-review journals. Further, I have started another article on a Japanese Peruvian poet. During the two years of research, I was able to gather many materials in Peru and the U.S. and in Peru, I was able to meet Nikkei writers and conduct an interview.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合　計
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011年度	1,040,000	312,000	1,352,000
年度			
年度			
年度			
総　計	2,140,000	642,000	2,782,000

研究分野：人文学
科研費の分科・細目：各国文学・文学論　２９０４
キーワード：日系ペルー人文学、アイデンティティー論、文学論

１．研究開始当初の背景

南米文学には、少数派民族に関する文学作品批評の数に比べると、日系人を扱った作品批評がとても少ない。1990 年代後半より、日系人作家による文学、文化作品、日系人を扱った作品に対する関心が米国批評家の間で生まれ始めたが、まだまだこの分野に関しての研究は、特に南米文学研究者の間では、少ない。しかし、日系南米人の存在、社会貢献は、現在のラテンアメリカ社会、アイデンティティーの構築に何らかの形で影響を与えてきた。日本では、日系人の移民史に関する研究、資料は存在するが、日系人

の国家、アイデンティティーとは何かを文学を通じて探求した研究が存在しないように見える。このような背景のもと、スペイン語圏南米で一番日系人口の多いペルーを選び、日系ペルー人がどのように非日系ペルー人、日系ペルー人作家によって、文学作品に描写されてきたかを探求したいと思った。

２．研究の目的

日系ペルー人が日本、ペルーで出版された文学作品にどのよう描かれているのかを探求し、日系ペルー人の国家、アイデンティティーとは何かについて研究することが目的であった。目的を３部に分けた。

（１） 南米日系人の移民史の研究。19世紀後半に始まった日系ペルー人の移民史を振り返り、移民がどのように日系社会、日系アイデンティティーを築いていったかを学ぶ。また、日系社会がどのように主流(mainstream)社会に見なされていたかを学ぶ。
（２） 移民、国境横断、アイデンティティーに関する理論的探求。カルチャルズスタディーズ、ポストコロニアリズム、ボーダースタディーズなどの理論の知識の獲得。
（３） 日系ペルー人の国家、アイデンティティーに（１）と（２）で得た知識の適用。特に、日系ペルー人アイデンティティーがどのようにステレオタイプ化し、どのようにステレオタイプを破壊されているのかを探求する。

３．研究の方法

（１） 文学作品、理論資料、移民史資料取得。
（２） ペルー、アメリカの図書館での研究。
（３） ペルーで、日系社会の知識を深める。
（４） 学会での研究発表、研究意見交換、勉強会に参加する。
（５） 学術誌に投稿する。

４．研究成果

文学作品、他の必要な資料を収集し、日系ペルー人に関しての知識を深めることができた。ペルー、クスコで開催された学会では、日系人文学に関心のある学者と意見交換することができた。また、論文を発表し、現在投稿中の論文が一本ある。　さらに、ペルーでは、日系ペルー人のアイデンティティーに関する図書出版に興味を持つ出版者と日系ペルー人作家による文学作品とその批評の収集を将来の出版プロジェクトとし、第一回の打ち合わせをすることができた。

５．主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計　１　件）

<u>Mato, Shigeko.</u> "Beyond the Memory of Displacement: *Adios to Tears: The Memoirs of a Japanese-Peruvian Internee in U.S. Concentration Camps.*" *Waseda Global Forum.* 査読有 No.8, 2011. 2012. 129-49.

〔学会発表〕（計　３　件）

<u>Mato, Shigeko.</u> "(Un)Negotiating Nisei Identity in Peru: On La iluminación de Katzuo Nakamatsu (2008) by Augusto Higa." LASA XXX 2012, International Congress (Latin American Studies Association), May 24, 2012. San Francisco, USA (Accepted). 選考審査有(Individual submission 33%)

<u>Mato, Shigeko.</u> "Una lectura de *Chambala era un camino* como un paisaje migrante." XI Congreso Internacional de Literatura Hispánica, March 9, 2012. Cuzco, Perú. 選考審査有

<u>Mato, Shigeko.</u> "Whose Soul is Saved by Whom?: Colonial Evangelism in Castellanos' 'Arthur Smith salva su alma.'" LASA XXIX 2010 International Congress (Latin American Studies Association), Oct. 9, 2010. Toronto, Canada.　選考審査有

６．研究組織

(1)研究代表者：　間藤　茂子
早稲田大学
国際教養学術院

准教授

研究者番号：90579468

(2)研究分担者　なし
（　　）

研究者番号：

(3)連携研究者　なし
（　　）

研究者番号：